

ベネズエラ経済（2017 年 12 月）

1 経済概要

（１）政府の各種政策・統計

☆国会財務・経済開発委員会（野党のみにより構成）は、２０１７年１１月のインフレ率を、月間インフレ率過去最高の５６．７％と発表し、２０１７年１月から１１月までの累積インフレ率を、１，３７０％、本年のインフレ率を、２，０００％～２，１００％と見込むと発表。

（２）政府予算・財政

☆アイサミ副大統領が、２０１７年予算の８兆４，０００億ボリバルから約３２９％増となる３６兆１，１０２億ボリバルの２０１８年予算法案を制憲議会に提出し、制憲議会は審議なしで承認。

（３）石油・天然ガス産業

☆マドウーロ大統領は米国金融制裁を回避する手段として、仮想通貨「ペトロ」の導入を発表。

（４）自動車産業

☆ベネズエラ自動車会議所(CAVENEZ)は、加盟全７社の１２月の自動車生産台数は、４６台、販売台数は、１４９台と発表。

（５）主要指標

	１２月	前月比
外貨準備高	９５億２４百万米ドル	２．５％減
インフレ率（１１月）	５６．７％	１１．２％増
家庭基礎食糧バスケット価格（１１月）	B s. ７，１９０，１５８．９８	８３．５％増
外貨発給額（DICOM）	０米ドル	—
石油輸出価格	５６．５５米ドル/バレル	１．３５米ドル増
原油生産量	１７４．５万バレル/日	８．９万バレル減
最低賃金	B s. １７７，５０７	B s. ４０，９６３増

2 経済の主な動き

(1) 政府等の各種政策・統計

ア 経済指標・政策（予測）

●米格付け会社フィッチ・レーティングは、PDVSA 米国子会社 CITGO の発行体デフォルト格付けを“B-”から“CCC”に変更。

(5 日付エル・パソ紙)

●ベネズエラ工業連盟は、ハイパーインフレ、価格統制により、現在稼働している製造業社 3,800 社のうち 1,018 社が廃業に追い込まれ、ハイパーインフレにより需要の激減、経済規模の縮小、製造業の廃業を招くと述べた。

(6 日付エル・パソ紙)

●国際航空運送協会 (IATA) のセルダ米州副代表は、ベネズエラの政治・経済・社会状況の悪化を考慮して、2018 年 1 月 31 日にカラカス事務所を閉鎖し、2018 年 2 月以降はパナマから管轄すると発表した。

(6 日付エル・パソ紙)

●国会の財務・経済開発委員会（野党のみにより構成）は、本年 9 月までの経済成長率が、マイナス 12%であったと発表した。

(6 日付エル・パソ紙)

●国会の財務・経済開発委員会は、11 月のインフレ率を月間インフレ率過去最高の 56.7%であると発表し、2017 年 1 月から 11 月までの累積インフレ率を、1,370%，本年のインフレ率を、2,000%～2,100%と見込むと発表。

(8 日付エル・パソ紙)

●米格付け会社スタンダード・プアーズは、国債 2023、国債 2028 の格付けを“CC”から“D (DEFAULT)”に変更した。支払猶予期間の 30 日間以内に、国債クーポン総額 1 億 8,300 万米ドルの支払がなされなかった、外貨建長期発行体格付けは“SD (SELECTIVE DEFAULT)”を維持。

(9 日付エル・パソ紙)

●ベネズエラ輸出協会は、本年の石油以外の輸出額が、前年比 33%増、30 億米ドルになると見込む。主な輸出品は、メタノール、鉄、アルミ合金であり、輸出量の増加と市場価額の改善が貢献した。

(10 日付エル・パソ紙)

●国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (CEPAL) は、ベネズエラの 2018 年の経済成長をマイナス 5.5%と見込む。

(15 日付エル・パソ紙)

●カノ鉱業開発エコロジー大臣は、2018年は金の精製で20億米ドルの収入を見込むと述べた。2017年の金精製量は8.1トンを見込み、毎月1トンの金の精製を行うことで、年間20億米ドルの収入を目標にすると述べた。

(17日付エル・ウニベルサル紙)

●12月8日に前年同日比でマネタリーベースが975.42%上昇、912.8億ボリバル増加の1,006.4億ボリバルとなる。

(18日付エル・ウニベルサル紙)

●米格付け会社スタンダード・プアーズは、PDVSA 債2021、同2024の利払い2億5,800万米ドルを支払い猶予30日間以内に支払を完了しなかったとして、PDVSA 債の格付けを“CC”から“D” (DEFAULT)に引き下げた。

(21日付エル・ウニベルサル紙)

●労働者情報分析センター (CENDAS) による、2017年11月の家族基礎食糧バスケットは、前月比83.5%増、7,190,158.98ボリバルであった。

(19日付エル・ウニベルサルweb版)

●国際財産権インデックスによると、調査対象国127カ国中ベネズエラは、法律と政治環境で最低点となり、最下位イエメンに続く126位となる。

(22日付エル・ナンサル紙)

(2) 政府予算・財政

ア 外貨準備高

●12月30日の外貨準備高は、95.24億米ドルとなった。

(中央銀行)

イ その他

●国債 VEN19、同24、同26、PDVSA 債17、同20、同22、同27の利払猶予期限が経過するも債権者に未着金。7日には、国債 VEN23の利払9,000万米ドル、VEN28の利払9,250万米ドルの猶予期間の期限を迎える。

(7日付エル・ナンサル紙)

●国際決済機関 Euroclear は、国債・PDVSA 債の債権者への支払資金が着金していないと発表。市場関係者によると、国債2019、同2024、同2025、同2026の利払い分が着金しておらず、支払い猶予期間中と期間を終えた未払債務額は11億米ドルに上がる。

(9日付エル・ウニベルサル紙)

●アレアサ外務大臣は、米国金融制裁の影響により、30億米ドルの資産の取引が凍結され

ていると述べた。

(9 日付エル・ナショナル紙)

●国際スワップデリバティブ協会 (ISDA) は、ベネズエラ国債のオークションを実施し、額面 1 米ドル当たり 24.5 セントで落札されたと発表した。

(13 日付エル・ユニベルサル紙)

●ロア大学教育・科学技術大臣は、国家ブロックチェーン監督局の設置を発表した。ブロックチェーン監督局は、今後導入する仮想通貨「ペトロ」の発行の管理にかかる規則等の作成を担当する。

(13 日付エル・ユニベルサル紙)

●ビエルマ貿易・国際投資大臣は、アルゼンチンで開催された WTO 閣僚会合に出席し、ベネズエラは相互尊重、国際法に則り多国間主義を擁護するが、米国の帝国主義の犠牲となり、19 の銀行からコルレス契約を解除され、食糧、医薬品、原材料が購入できないと述べた。

(14 日付エル・ユニベルサル紙)

●アンデス開発公社は、ベネズエラ中銀に対して上限 4 億米ドルのクレジットラインを債務管理上の流動性危機の緩和、安定した輸入の確保を目的として承認した。

(15 日付エル・ナショナル、エル・ユニベルサル紙)

●オリノコ金鉱山から 366kg の金が、ベネズエラ中銀に納入された。12 月に引き渡された金は 2 トンとなり、月間納入量最高記録と、鉱業開発・エコロジー大臣が述べた。

(26 日付ウティマス・デシマス紙)

(3) 石油・天然ガス産業

ア ベネズエラ原油価格・原油生産量 (実績)

●12 月の原油輸出価格は、1 バレル 56.55 米ドル (OPEC 同 61.56 米ドル, WTI 同 57.82 米ドル, BRENT 同 63.93 米ドル)。12 月の原油生産量は、日量 174.5 万バレル (前月比 5%減)。

(石油省, OPEC Monthly Oil Market Report Dec 2017 Secondary Sources)

	17年4月 の生産量	17年5月 の生産量	17年6月 の生産量	17年7月 の生産量	17年8月 の生産量	17年9月 の生産量	17年10月 の生産量	17年11月 の生産量	17年12月 の生産量	順守率(%)
アルジェリア	1056	1061	1060	1059	1065	1046	1012	1013	1037	104
アンゴラ	1667	1602	1668	1646	1646	1641	1711	1581	1633	136
エクアドル	526	529	527	536	537	536	541	533	526	85
ガボン	205	205	197	205	173	201	203	197	197	56
インドネシア										
イラン	3792	3774	3790	3824	3828	3827	3823	3818	3829	-162
イラク	4381	4441	4502	4468	4448	4494	4383	4396	4405	74
クウェート	2705	2709	2709	2703	2702	2700	2708	2703	2700	105
リビア	552	725	852	1001	890	923	962	973	962	
ナイジェリア	1496	1637	1733	1748	1861	1855	1738	1790	1861	
カタール	613	619	618	619	616	616	600	604	594	180
サウジアラビア	9934	9898	9950	10067	10022	9975	10000	9996	9918	129
UAE	2906	2899	2898	2905	2901	2905	2911	2883	2878	97
ベネズエラ	1967	1951	1938	1932	1918	1890	1863	1834	1745	339
合計	29752	29688	29857	29964	29856	29831	29755	29558	29462	151

OPEC 石油減産状況 (OPEC Secondary Sources) (単位：日量 1, 000 バレル)

イ その他

● 11月30日に OPEC 定例総会が開催され、減産を 2018 年 12 月まで延長することで合意した。

(1 日付各紙)

●ファイナンシャルタイムズによると中国石油化工 (SINOPEC) の米国子会社は、2012 年 5 月 PDVSA に対して抗井リグに利用する鋼線、総額 4,350 万米ドルを売却したものの 2,370 万米ドルが未払いであることから、SINOPEC は、11 月 27 日ヒューストンにて、2,370 万米ドルの弁済を求めて PDVSA を訴えた。

(7 日付エル・パソ紙)

●ケベド石油大臣兼 PDVSA 総裁、原油生産量を 100 万バレル／日増加させることを目標にすると発表した。

(8 日付エル・ユニベルサル紙)

●石油省は、今後 30 日間以内で、PDVSA、PDVSA 子会社、PDVSA との合併会社が交わした全ての契約の法令遵守確認を行うと発表した

(12 日付各紙)

●フレイテス石油産業労働組合役員は、政治的な迫害、労働条件の悪化により、本年だけで、PDVSA の従業員は 15,000 人、電力会社では 9,000 人が辞職をしたと述べた。

(12 日付エル・パソ紙)

●ロイター通信によると、PDVSA は中国石油化工 (SINOPEC) の米国子会社が米国でおこした 2,370 万米ドルの弁済訴訟で和解。抗井リグに利用する鋼線、総額 4,350 万米ドル代金のうち、未払い分の 2,150 万米ドルについて、12 月 14 日と 2018 年 1 月 15 日の 2 回分割で支払うことで合意し、訴訟費用 220 万米ドルについては中国元で支払うことで合意した。

(14 日付エル・パソ紙)

●モンタルボ Cuba Petroleo 社長は、2007 年にベネズエラとの合併企業として再開したキューバの Cienfuegos 精油所の全資本がキューバになったと発表。

(16 日付エル・ユニベルサル紙)

●ロイター通信によると、マドゥーロ大統領はカラカスを訪問中のセーテン・ロスネフチ会長と Patao, Mejilones オフショアガス田開発の権益譲渡の合意書に署名を行った。

(17 日付ロイター通信)

●オランダ領ボネール島当局は、PDVSA がボネール島に所有する原油貯蔵タンクの操業許可

を取り消す可能性に言及。

(19 日付ロター通信)

●Torino Capital は、2018 年 12 月の原油生産量は 2017 年 11 月から 44.2 万バレル／日減少する 139 万バレル／日、年間収入は 2017 年の 262 億米ドルから 203 億米ドルへ減少する見込み、債務支払義務の履行、輸入の継続が極めて困難になると見通した。

(20 日付エル・ユニベルサル紙)

●タチラ州、メリダ州、スリア州、バリーナス州で、ガソリン不足が深刻になり、給油のために 5 日間も並ぶ列ができる。

(21 日付各紙)

(4) 自動車産業

ア 生産・組立／販売台数（実績）

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全 7 社の 12 月の自動車生産台数は、46 台（前年同月比 43.2%減）、販売台数は、149 台（前年同月比 14.8%減）と発表。

(5) その他産業

ア 航空業

●欧州委員会の航空安全局の調査により、ベネズエラの Avior 航空の安全面の欠如が確認されたことで、欧州空域での運航を禁止した。

(1 日付エル・ナショナル紙)

●フィゲラ・ベネズエラ航空協会会長、国内航空産業が危機的状況にあると述べた。国内航空各社は価額統制の結果、保有機材の 25%のみが運用可能な状況であり、2011 年は毎週 350 便就航していたが、2016 年は週 127 便、2017 年は週 97 便まで減少したと述べた。

(11 日付エル・ユニベルサル紙)

●Estelar 航空は、12 月 13 日から、カラカス-マドリッド間に毎週月・水・金曜日に就航を発表した。

(17 日付エル・ナショナル紙)

イ インフラ

●カラカス水道公社による水道管補修工事を原因とする給水制限により、チャカオ市内で 2 週間以上の断水が続き住民がデモを行った。

(6, 7 日付エル・パソナル紙)

●ナバス電力労働組合長は、マドゥーロ大統領と制憲議会に、電力公社幹部との対話の再開支援を求めた。

(10 日付エル・ウニベルサル紙)

ウ 観光業

●アルナルデス観光業協会長は、前年同月比で 1 2 月の国内航空路線の旅客運搬数が 6 0 % 減少すると述べた。

(9 日付エル・パソナル紙)

エ 地下鉄

●1 2 日、カラカス郊外の地下鉄は、メンテナンスの欠如が原因で 8 時間不通となり、通勤各 7 万に影響が出た。

(13 日付エル・パソナル紙)

オ 電力

●電力公社は、メンテナンス不足により、本年 1 1 月まで 1 5, 1 6 6 件の停電を記録する。

(13 日付エル・パソナル紙)

●ドミンゲス電力大臣は、サンタ・テレサ変電所の高圧電線が外れたことで、カラカス首都圏を含むミランダ州、バルガス州で 5 時間に及ぶ大規模停電が発生し、マイケティア空港も一時影響を受けたと述べた。

(19 日付エル・パソナル紙)

●ララ元相互接続システム企画局長は、高圧電線が外れるのみで、大規模停電が発生することはないと非難した。

(20 日付エル・パソナル紙)

カ 鉱業

●ベネズエラ政府は、カナダ Cristallex 社から接收したラス・クリスティナス金鉱山の賠償金の支払を逸失する。

(22 日付エル・ウニベルサル紙)

●カノ鉱業開発エコロジー大臣は、ロマ・デ・ニッケル公社から、オランダ向けにフェロニッケル 5 0 0 トン輸出したと発表した。

(13 日付ウルティマス・ノティシア紙)

(6) 外貨発給状況

●2017年12月の最後のDICOM取引レート: BS. 3,345/US\$。発給総額無し。

(了)